

2008年5月29日  
クライスラー日本株式会社

## 新型 ジープ・チェロキーを6月7日(土)より発売

～ フルオープン・キャンバスルーフ『スカイスライダー』を採用したチェロキーを投入 ～

ミッドサイズSUVのリーダー的存在である、「新型ジープ・チェロキー」を6月7日(土)より全国のクライスラー販売店を通じ発売いたします。

新型ジープ・チェロキーは、ジープブランドが65年以上にわたって継承してきた4x4の伝統をそこなうことなく、日常での走行に適した乗り心地とハンドリングにさらなる改善を施し、7年振りにフルモデルチェンジされました。ジープ独自の逞しくスクエアなデザインを纏い、その内部には新開発のセレクトラック®IIフルタイムアクティブ4x4システムを採用、ジープならではのオフロード走破性も進化を遂げました。さらに、坂道発進や急勾配の下りを補助する新システムのヒルディセントコントロール(HDC)、ヒルスタートアシスト(HSA)なども標準装備しています。また、チェロキーに採用されたSky Slider(スカイスライダー)フルオープン・キャンバスルーフは、前席・後席の乗員にオープンエアーの開放感を与え、このクラスでは他に類を見ません。

チェロキーのフロントマスクには、ジープ象徴の7本縦型スロットグリルが装備され、フロントのボディ左右いっぱい広がるシングルユニットのフロントエンドモジュールが、グリルを取り囲んでいます。この構造は、あらゆる市場における歩行者への衝撃やそれ以外の衝突基準をクリアするように設計されたものです。フロントランプモジュールには、ハロゲンヘッドライト、フォグランプが収められています。先代のモデルより全長は20mm小さく、全幅は10mm広くなったにもかかわらず、リアシートのレッグルームは38mm、カーゴエリアは84mm拡大しました。

サイドシルエットでは、奥まったボディセクションや高いベルトラインにより、タフさ、力強さ、高い走破性能を感じさせる外観が創り上げられています。ホイールをボディの四隅に配したデザインと大胆な台形フェンダーフレアがサイドシルエットを強調しています。ボディサイドモールディングはブライトクロームのメッキが施され、「CHEROKEE」の文字が刻み込まれています。また、スペアタイヤはアンダーボディに収められており、インテリアスペースが拡大しました。

チェロキーにメーカーオプションとして装着が可能なSky Sliderフルオープン・キャンバスルーフはスイッチの操作で数通りに動かすことができ、前に全開または、後に全開、そして任意の位置まで部分的に開くことができます。素材には強化アクリルクロスで耐候性と耐水性を持ち、トップパネルはウェザーストリップシールに、はめ込まれておりウィンドノイズを低減しています。

一方、新デザインのツートーンインストルメントパネルがシンプルかつ機能的で、広々とした室内空間を演出しています。インストルメントクラスターは4ゲージタイプで、黒地にクリアホワイトの文字とオレンジの指針を与えました。また、ツートーンの革巻きステアリングホイールは4スポークタイプで十分な操舵感と重量感があります。

チェロキーのインストルメントパネルにマッチした、7型 WVGA タッチパネルモニターを備えた HDD ナビゲーションシステムは、様々な先進テクノロジーをひとつのパッケージに集約した標準装備です。VICS 光・電波 ビーコンレシーバーの搭載により、道路状況の最新情報をリアルタイムで収集し、高画質モニターに分かりやすく表示。デジタルカメラや携帯電話、MP3 プレーヤーなどにストックしている画像や音楽データを読み込み、内蔵ハードディスク保存することも可能です。

60:40 分割可倒式リアシートと可倒式助手席シートは、荷物の積載、運搬、テールゲートパーティーなどに最適です。さらに、リアシートにもリクライニング機能を備え、シートポジション調節の幅が広がりました。ツートーンのフロントおよびリアシートは中央部分を広くしサイドのボルスター部分を厚くすることで、ホールド感を高めました。シートのショルダー部分を高く、スクエアな形状となっています。また、座面のクッションの長さを拡大することで、より良好な大腿部のサポートも実現しました。

拡大したリアカーゴエリアには、数か所の収納ボックスと使い勝手の良い装備が採用されています。左右のトリムパネルにはカーゴタイダウンループを取付け、カーゴフロアに荷物を固定することができます。さらに、フロア一部中央に配置されたカーペット貼りの蓋の下には、泥の付いたブーツや苗木の箱を入れるのに最適な深さ約 10cm の防水収納ボックスが確保されています。両側のラッチを解除して蓋を開くと、この収納ボックスにアクセスすることができます。さらに、蓋を裏返して使用すれば、汚れを拭き取りやすいプラスチック製で浅くて大きなトレイが設けられ、高い実用性を確保しました。

搭載される 3.7 L SOHC V6 ガソリンエンジンは、スムーズで静粛な動作と実績ある耐久性を実現し、最高出力は 151 kW(205 ps)/ 5,200 rpm、最大トルクは 314 N・m(32.0 kg-m)/ 4,000 rpm を発揮します。また、4 速オートマチックトランスミッションには可変油圧ラインプレッシャー機能を搭載し、燃費を向上させました。

低速トルクが向上し、さらにアイドリングのスムーズさと静粛性も向上したのは、バルブトレインと燃焼室に改良を施したためです。高度なエレクトロニック スロットル コントロール(ETC)により、扱い易さと加速感が向上しています。排気ガス再循環バルブもエンジンの燃費改善に貢献しています。

新開発セレクトラック II 4x4 システムは、車輪の空転が起きる前にそれを予測し防止するフルタイムアクティブ 4x4 システムです。従来のパートタイム 4x4 システムがあまり得意としなかった舗装路などを含め、幅広い路面状況に適したシステムで、あらゆる状況下での走行に最適な 4x4 オートモードを備えています。4x4 オートモードでの走行では、システムがクルマの各種センサーからのデータを利用し、その時の走行状況に応じてフロントおよびリアアクスル間のトルク配分を調整して、応答性の高いトラクション性能を実現します。

急坂を横切する場合や荒れた路面または極端にトラクションの低い路面などを通過する際の性能を高めるため、トランスファーには 4x4 ローモードが用意されています。このモードではエンジントルクが 2.72 倍に増強され、クラッチバックもロックされることから最大のトラクションが得られます。4x2、4x4 オートモードと 4x4 ローモードの切り替えはコンソールに取り付けられたスイッチにより、電気的に行われます。

新開発の独立懸架ショート/ロングアーム コイルスプリング フロントサスペンション、新開発 5 リンクリアサスペンション、ラックアンドピニオン式パワーステアリングシステムがオンロードにおける乗り心地と俊敏でしっかりとしたハンドリングに大きく貢献しています。十分なホイールトラベルとバンプストッパーのチューニングにより、安定した乗り心地が維持されています。フロントローアーム設計により、アッパーコントロールアームがフロントボディ構造の前後方向のレールにマウントされ、最適な剛性が確保されることで騒音、振動、ハーシュネス(NVH)が最小限に抑えられています。リアサスペンションのアッパー/ローワー トレイリングリンクとトラックバーなどから成る新開発 5 リンクリアサスペンションにより、横方向の剛性が増し、クルマのレスポンス感が向上しています。この剛性の高いアクスルにより、積載物の多い場合でも、変わらないハンドリングと安定性を実現しました。

新システムの新ヒルディセント コントロール(HDC)は、ギア比 4:1 のトランスファーと 6 速マニュアルトランスミッションを搭載したジープ・ラングラー ルビコンでなければ得られないような超低速ギア比によって可能となる降坂制御や柔軟性の高さを再現するように設計されています。このギアと同様に作動する HDC は、急斜面での確実な降坂を可能にします。

HDC は 4x4 ローポジションで動作し、単にブレーキのみを使用する場合に比べ、より正確でスムーズな動作で制御された速度による降坂補助を行うシステムです。電子制御することで、従来は機械的なローレンジトランスファーの役割であった、ギアによる減速とエンジンブレーキの代わりに動作します。この HDC は、速度の変化がきわめてスムーズで、ドライバーがシステムをオフにすることなくアクセルとブレーキを使用することができ、ドライバーがアクセルまたはブレーキを戻すとスムーズかつ制御された形で既定の速度へと戻ります。HDC は、急坂で滑りやすい状態の路面における停止状態からでも、速度変化が最大限にスムーズとなるように設計されています。

ヒルスタート アシスト(HSA)は、坂道発進時においてドライバーがブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み換えるための時間の猶予を与えることで、スムーズな発進ができるようにするものです。ブレーキ圧は、ドライバーがブレーキペダルから足を放してから約 2 秒間そのままに保持され、システムがアクセルの踏み込みを検知するとブレーキ圧を減少させ、スムーズな発進を確保します。このシステムは、急坂あるいは、オフロード走行でもきわめて有効です。

安全面では、ABS(アンチロック ブレーキング システム)、BAS(ブレーキアシスト)、ERM(エレクトロニック・ロール・ミティゲーション)付き ESP(エレクトロニック スタビリティ プログラム)を標準装備し、様々な路面状況における過酷なドライビングで、ドライバーが進路をキープする操作を補助し、ロールを電子的に抑制し、横転を防止させ、すぐれたアクティブセーフティを実現しています。フロント補助サイドカーテンエアバッグ、フォースリミッタープリテンショナー フロントシートベルトなども標準装備され、乗員の保護性能も高めています。

新型 ジープ・チェロキーには、「CHRYSLER CARE (クライスラー ケア)」が全車に標準で適用されます。「CHRYSLER CARE」は、従来の新車登録時から3年または6万 km の「車両保証」、新車登録日から3年間、走行距離無制限で、法令で定められた12ヶ月目、24ヶ月目の法定定期点検の実施と、対象項目の部品、油脂を規定の回数、無料で交換する「メンテナンス フォー ユー」、そして「24h FOR YOU アシスタントサービス(新車登録時より3年間。走行距離無制限)」の3種類のアフターサービスプログラムに加え、一定条件のもとエンジンなどの車両の基幹部位を最長で5年 または 10万 km まで保証する、高い信頼と安全性を備えたトータルケアサービスです。

<新型 ジープ・チェロキー メーカー希望小売価格(消費税込み)>

モデル	ステアリング位置	メーカー希望小売価格 (消費税抜き車両本体価格)
ジープ・チェロキー リミテッド	右	¥4,441,500 (¥4,230,000)
ジープ・チェロキー リミテッド (スカイスライダー サンルーフ付 *1)	右	¥4,620,000 (¥4,400,000)

\* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

\*1 メーカーオプション